

相続税の修正申告書

税務署長

年 月 日 提出

相続開始年月日 年 月 日

○フリガナは、必ず記入してください。

税務署受付印

この申告書は黒ボールペンで記入してください。

第1表 (平成29年分以降用)

(注)

②欄の金額が赤字となる場合は、②欄の左端に△を付してください。なお、この場合で②欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表⑨)があるときの②欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。

フリガナ		各人の合計			財産を取得した人			
氏名		(被相続人)			⑧			
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては左端を空欄とし、ここから記入してください。			□□□□□□□□□□□□□□□□			
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)			年 月 日 (年齢 歳)			
住所 (電話番号)		〒			(- -)			
被相続人の職業								
取得原因		該当する取得原因を○で囲みます。			相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			
※整理番号		□□□□□□□□			□□□□□□□□			
区分		① 修正前の課税額	② 修正申告額	③ 修正する額(②-①)	④ 修正前の課税額	⑤ 修正申告額	⑥ 修正する額(⑤-④)	
課税価格の計算	取得財産の価額(第11表③)	①	円	円	円	円	円	
	相続時精算課税適用財産の価額(第11の2表1⑦)	②						
	債務及び葬式費用の金額(第13表3⑦)	③						
	純資産価額(①+②-③)(赤字のときは0)	④						
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額(第14表1④)	⑤						
	課税価格(④+⑤)(1,000円未満切捨て)	⑥	A	,000	A	,000	,000	
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び遺産に係る基礎控除額	⑦	B(人),000,000	B(人),000,000	(人),000,000	左の欄には、第2表の②欄の③の人数及び④の金額を記入します。		
	相続税の総額	⑦	00	00	00	左の欄には、第2表の⑧欄の金額を記入します。		
各人の納付・還付税額の計算	一般の場合(⑩の場合を除く)	あん分割合(各人の⑨)	⑧	1.00	1.00			
		算出税額(⑦×各人の⑧)	⑨	円	円	円	円	円
	農地等納税猶予を受ける場合	算出税額(第3表⑬)	⑩					
	相続税額の2割加算が行われる場合(第4表1⑥)	相続税額の2割加算金額	⑪	円	円	円	円	円
	税額控除	暦年課税分の贈与税額控除額(第4表の2A)	⑫					
		配偶者の税額軽減額(第5表①又は②)	⑬					
		未成年者控除額(第6表1②、③又は④)	⑭					
		障害者控除額(第6表2②、③又は④)	⑮					
		相次相続控除額(第7表⑬又は⑭)	⑯					
		外国税額控除額(第8表1⑧)	⑰					
計	⑱							
差引(⑨+⑱-⑰)又は(⑩+⑱-⑰)(赤字のときは0)	⑲							
相続時精算課税分の贈与税額控除額(第11の2表⑧)	⑳	00	00	00	00	00	00	
医療法人持分税額控除額(第8の4表2B)	㉑							
小計(⑲-⑳-㉑)(黒字のときは100円未満切捨て)	㉒							
農地等納税猶予税額(第8表2⑦)	㉓	00	00	00	00	00	00	
株式等納税猶予税額(第8の2表2⑩)	㉔	00	00	00	00	00	00	
山林納税猶予税額(第8の3表2⑧)	㉕	00	00	00	00	00	00	
医療法人持分納税猶予税額(第8の4表2A)	㉖	00	00	00	00	00	00	
申告納税額(②-③-④-⑤-⑥)	申告期限までに納付すべき税額	㉗	00	00	00	00	00	
	還付される税額	㉘	△	△	△	△	△	

※税務署整理欄	年分	名簿番号	補完番号	補完番号	管理補完	確認
検算印		集計表(徴収)	□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□	□	□

作成税理士の事務所所在地・署名押印・電話番号

⑩ 税理士法第30条の書面提出有 税理士法第33条の2の書面提出有

通信日付印 確認者⑩